

市長メッセージ —くらくら館開館10周年によせて—

加須市市民活動ステーション「くらくら館」が、「まちづくりネットワーク・かぞ」と市の連携による運営のもと、本年度開設10周年を迎えることとなりました。

市民活動ステーションの開設は、合併後の新生加須市が取り組むべき政策の一つとして位置づけ、まちづくりネットワーク・かぞをはじめとする関連団体の皆様よりご意見・ご要望を頂戴し、それら1つ1つについて丁寧に協議を重ねて、平成23年10月に実現いたしました。開館以降、くらくら館を拠点に、地域の課題解決のための独自事業や活動団体のネットワーク形成のための交流会の開催など、この10年間でその役割を十分に発揮され、くらくら館から市民活動の輪が広がっていると確信しているところであります。



子どもたちの音楽活動、子育て世代では育児サークル活動、そしてシニア世代による教養・文化活動など、幅広い世代の市民団体の皆様による活動が行われており、このような取組が、協働による人も地域も元気な加須市づくりにつながっていくものとして、大変重要であると考えております。

市といたしましても、今後も様々な分野で市民活動に取り組まれている皆様との絆を育み、力を合わせて、市民力、協働力の向上を図り、将来にわたって住み続けたい加須市づくりを進めてまいります。

結びに、くらくら館のますますの発展と登録団体の皆様のご活躍を心からご祈念申し上げます。あいさつとさせていただきます。

令和3年9月

加須市長

大橋良一

初代館長 小島 裕子さま

くらくら館10周年おめでとうございます。創立から半年間、館長を務めさせていただきました。本町内田様邸を一部お借りしての出発。蔵造りの歴史ある空間が「くらくら館」命名の由来です。

掃除、チラシ作り、広報活動と市役所の方にもお世話になりました。まずは、くらくら館を知っていただくこと、入り口の窓ガラスにディスプレイ。12月にはクリスマス、年が明けるとお正月Versionと次々に変えて。休みの日は、市民活動の友人を訪ね登録のおすすめして回りました。

皆様の協力で「くらくら館」の窓は、市民団体のお知らせチラシでいっぱい。目を輝かせ、新団体の立ち上げを企画する方も。

内発的な動機に裏打ちされた市民活動は、コロナ禍でも継続し発展。半年間という夢のような時間でしたが、この時、出合った素敵な人たちは今のわたしの宝物です。

くらくら館のますますのご活躍を衷心よりお祈り申し上げます。

2代目館長 古田 由記子さま

くらくら館設立10周年、おめでとうございます。

ボランティア活動の拠点を作るという大橋市長公約の下、蔵造りの本町内田邸内にくらくら館が産声をあげて早10年。市内の団体さんからどれだけの支持を得られるだろうか？そんな不安を他所に、続々と登録に来訪される市民団体の皆様から力をいっぱい戴きました事、今でも忘れられません。

これからも、更なる発展を遂げられます様、心よりお祈り申し上げます。

加須市市民活動ステーションくらくら館 TEL: 0480-31-7311



●2011 (平成23) 年

10月5日 くらくら館 開館 (加須市本町の旧内田糸店跡、初代館長 小島裕子) 加須市とまちづくりネットワーク・かぞが協働で設置。12月末段階で登録団体80
12月1日 「くらくら館だより」第1号発行 その後も続く登録団体へのインタビュー、第1回は ふれあいセンターの富沢トシ子さん。



●2012 (平成24) 年…暫くの間、まちネット代表の関口孝夫が館長を兼務

3月17日 くらくら館主催で「市民活動団体パネル展示及び事例発表・交流会」(後の市民活動フェアの原型)を開催。
6月29日 初めての利用団体懇談会(現在の運営委員会)開催 木曜オフ会、歳シネマやお助けマイスター制度など開始
10月9日～12日 開館1周年記念フェア 出前市長室・映画会・活動発表会・団体作品展示会など

●2013 (平成25) 年…2代目館長に古田由記子就任

1月～2月 パソコン教室(基礎講座、チラシ・ポスター作成講座)開催 以後、団体活動に役立つパソコンの使い方について学習会を開くようになる。
7月20日・21日 加須どんとこい祭りの休憩所としてくらくら館を開放。来館者には特製うちわを配布。この開放と配布は、くらくら館移転まで続く。

●2014 (平成26) 年

3月23日～27日、パネル展示会改め市民活動フェア(第1回)開催 4月 SNS(フェイスブック)活用開始
9月～12月 団体自主講座で かなくる やレクリエーションインストラクタークラブKAZO、彩の花 等が発足。くらくら館主催事業で「ママのしゃべり場」(後に子育てママはじめの
一歩に引き継がれる)や自由人デビュー(後の自遊人仲間会)等が始まる。
10月16日 開館以来の来館者総計が1万人に到達。



●2015 (平成27) 年

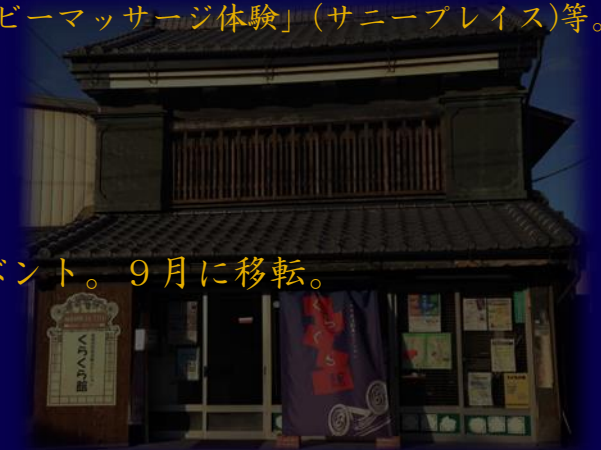
この年から市民活動フェアの会場が市民プラザかぞ視聴覚ホールからより広い多目的ホールに変更になる。
登録団体の活動を支援する講座等を開催。7月「デコパージュ教室」(かなくる)、9月「小児医療講座」(子育てママはじめの一歩)、10月「ベビーマッサージ体験」(サニープレイス)等。

●2016 (平成28) 年…3代目館長に花崎真理雄就任

10月5日 学習会「市民団体の10年後で語れ」開催。長期的視点を持った活動を志向

●2017 (平成29) 年…4代目館長に小室幸子就任

くらくら館が加須市本町の旧商店跡から同中央の市民プラザかぞ5階に移転する。8月19・20日に本町で閉館イベント。9月に移転。
「木曜オフ会」が「いどばたサロン」と名前を変え、水曜日開催になる。



●2018 (平成30) 年

11月7日 視察研修

●2019 (平成31・令和元) 年

6月20・27日 IT技術の市民活動での活用を目指して「LINE・Instagram基礎講座」開催

●2020 (令和2) 年

くらくら館だより第100号記念号発行
《コロナ休館》新型コロナウイルス感染拡大を受けて、4月6日から5月31日まで臨時休館となる。また、第7回市民活動フェアは中止となる。
10月 くらくら館公式LINE開設 10月16日 PowerPoint動画作成講座(市民活動フェアオンライン開催へ向けて)



●2021 (令和3) 年

3月 コロナ禍が収束しない中、第8回市民活動フェアをオンラインで開催。